

「平和の種プロジェクト」に協力

■南信州に数多くのひまわりを咲かせて、平和復興支援の輪を広げよう!

飯田市内の有志でつくる「ひまわり応援隊」による「平和の種プロジェクト」。「南信州地域内に数多くのひまわり（ウクライナの国花）を咲かせ、平和の尊さを再認識し、皆で力を合わせ、平和復興支援の一助となる活動を行う」という趣旨に当金庫も賛同し、各支店や職員個人宅で心を込めてひまわりを育てました。また、多くのお客さまにもご協力いただきました。

回収した種は「ひまわり油」となり、その販売収益は平和復興の一助として支援金寄付に充てられます。

平和意識の醸成、連帯感の広がり、地域の魅力創造といった「平和の種」が、関わった職員の心の中に芽生えました。



『クラウド入出金管理サービス「INVOY」』の紹介業務を開始

■中小企業や経営者のみなさまの入出金管理をサポートし、課題解決を図る



フィンテック企業であるOLTA株式会社と事業提携し、クラウド入出金管理サービス「INVOY（インボイ）」の紹介業務を開始しました。

「INVOY」は、令和5年10月より導入されるインボイス制度に対応した請求書の発行・管理や領収書、見積書の作成等が無料でできます。またお客さまがお取引引きされている複数の金融機関口座を登録することにより、残高および入出金明細を一括で確認することが可能となる統合通帳機能（一部有料）等も備えており、経理業務の負担軽減や資金一括管理等の業務効率化による生産性向上にも繋がるクラウド入出金管理サービスです。

詳しくは、各お取引店までお気軽にお問い合わせください。

飯田信用金庫の概要 (令和4年9月30日現在)

本店所在地 〒395-8611 長野県飯田市本町1-2
創立 大正14年9月
店舗数 23店舗
出資金 10億43百万円
会員数 27,281人
常勤役員数 372人



編集・発行 飯田信用金庫 総合企画部
TEL.0265 (22) 4321
ホームページ <http://www.iidashinkin.co.jp/>

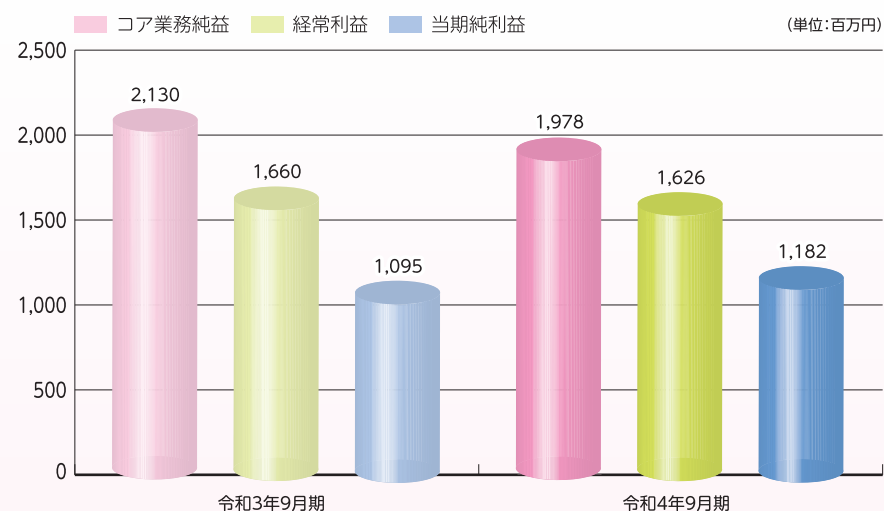


収益の推移 安定した収益を堅持しています。

〈令和4年9月期〉

コア業務純益 19億78百万円
// (除く投信解約損益) 18億99百万円
経常利益 16億26百万円
当期純利益 11億82百万円

コロナ禍で地域経済を取り巻く環境は引き続き厳しい中ではありましたが、堅実かつ積極的な経営に努めた結果、コア業務純益19億78百万円、経常利益16億26百万円、当期純利益11億82百万円を計上しました。



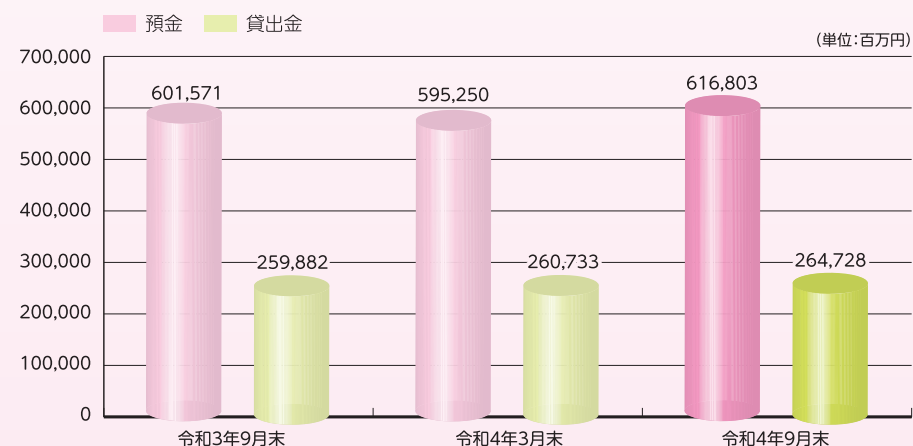
預金・貸出金の推移 地区内シェアはNo.1。

〈令和4年9月末〉

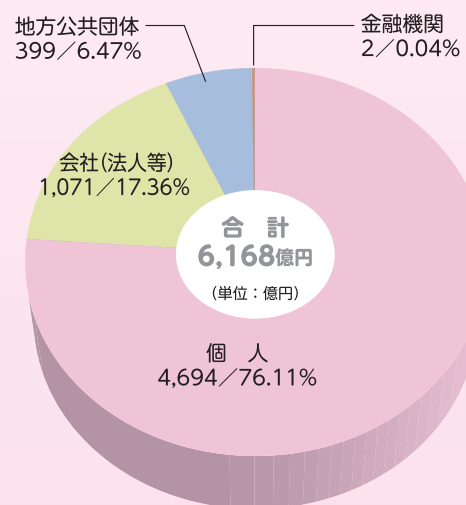
預金残高 6,168億03百万円
貸出金残高 2,647億28百万円

預金は、個人預金、法人預金ともに堅調に推移し、令和4年3月末比では215億53百万円増加の6,168億3百万円となりました。

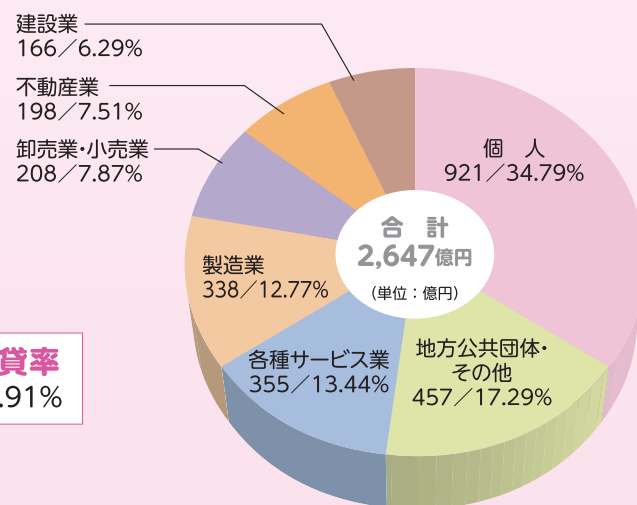
貸出金は、住宅資金需要の堅調な伸びや、事業者向けの資金繰り支援を背景に、令和4年3月末比では39億94百万円増加の2,647億28百万円となりました。



預金者別構成比



貸出先別構成比



預貸率
42.91%

有価証券 含み益は信用金庫業界トップクラスの水準です。

〈令和4年9月末〉

含み益 237億86百万円

有価証券全体の時価は、金利の上昇、株価の大幅な下落により令和4年3月末比で38億74百万円減少の3,124億80百万円となりました。

評価差額も、令和4年3月末比で58億39百万円減少の237億86百万円となりましたが、引き続き信用金庫業界トップクラスの水準を維持しています。

保有有価証券	令和4年3月末			令和4年9月末		
	取得原価	時価	評価差額	取得原価	時価	評価差額
株式	7,986	12,456	4,470	7,917	12,029	4,111
債券	241,865	256,721	14,855	242,529	253,564	11,034
その他	36,876	47,176	10,300	38,246	46,886	8,639
合計	286,728	316,354	29,626	288,694	312,480	23,786

(注) 「評価差額」は、基準日時点の取得原価(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しています。

自己資本 自己資本の額は660億円。

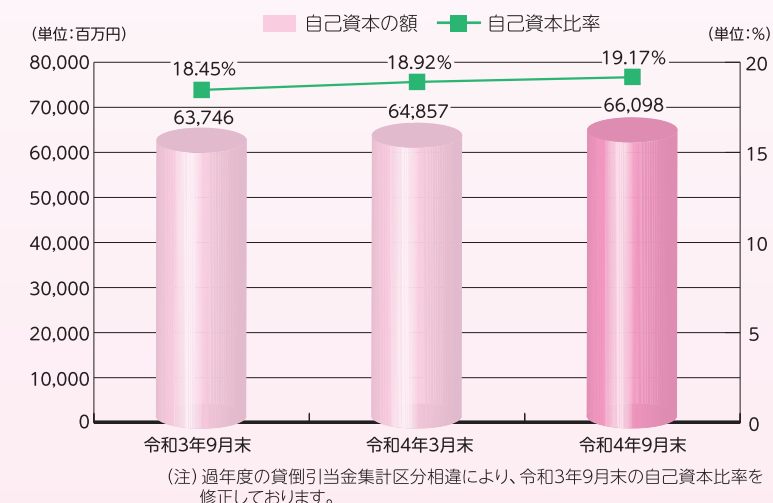
〈令和4年9月末〉

自己資本比率 19.17%

自己資本比率は、令和4年3月末比で0.25ポイント上昇の19.17%となりました。国内基準(4%以上)を大きく上回っており、高い健全性を維持しています。

自己資本比率の算出方法

$$\frac{\text{自己資本の額 } 66,098 \text{ 百万円}}{\text{リスク・アセット等 } 344,695 \text{ 百万円}} \times 100 = 19.17\%$$



(注) 過年度の貸倒引当金集計区分相違により、令和3年9月末の自己資本比率を修正しております。

不良債権 不良債権に対する備えは万全です。

〈令和4年9月末〉

不良債権比率 6.77%

金融再生法開示債権における不良債権比率は、令和4年3月末比で0.19ポイント低下し、6.77%となりました。なお、担保・保証等による回収見込額および貸倒引当金の合計による保全率は85.80%となっており、不良債権に対する備えは万全です。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権	破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権
危険債権	債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権
要管理債権	信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額
不良債権比率	

